



台東区が川柳でいっぱい

川柳が興って250年の今年、発祥の地・台東区では、街中に川柳が浸透している。

現在、初代川柳が居住していた浅草地区では、1月の東京東信用金庫・三筋支店、3月からはじまった合羽橋中央通り公西会商店街の〈平成万句合〉募集とフラッグによる川柳250年の飾り付けに続いて浅草四郵便局、台東千束郵便局で台東川柳人連盟による川柳展が行われている。

また、初期川柳作家の中心的地域であり、また、『誹風柳多留』の版元、花屋久次郎の店があった下谷地区では、住友信託銀行・上野支店と世界湯において、同じく台東川柳人連盟による川柳展が行われている。



窓口業務の待ち時間に、風呂上りのくつろいだ時間に川柳を楽しみ、にやりとしているところを見ると、川柳を展示する苦労は一気に吹き飛ぶ。

人間社会の一場面を切り取った川柳のユーモアは、別に川柳を嗜むことがなくても、共感を誘っている。これらの展示は、場所と内容を変えながら「川柳イヤー」と位置づけた今年いっぱい、各地各所で行われる。

川柳250年の行事は、発祥の地・台東区を中心に多くの団体・企業に後援され、盛り上がってきた。



<主なご後援・ご協賛>

文化庁、東京都、台東区、台東区教育委員会、たばこと塩の博物館、北海道文学館、東京新聞、台東区民新聞、雄山閣、新葉館出版、(社)全日本川柳協会、川柳学会、日本川柳ペンクラブ、東京合羽橋商店街振興組合、合羽橋本通り公西会商店会、オリックス(株)、川柳新聞社、ほろほろ忌川柳俳句会、からくさ彫刻学苑、栄久堂、(株)耐金、合羽はし喜久鮎、青龍舎、たから紙工、(株)文化事務用品、テブコ浅草館、浅草ビューホテル、浅草松屋、天台宗龍宝寺、浅草観光連盟、浅草酒販連合会、浅草菊屋橋飲食業組合、読売日本テレビ文化センター、朝日カルチャーセンター、ときめきたいとうフェスタ推進委員会、朝日信用金庫、東京東信用金庫三筋支店、「川柳公論」住友信託銀行上野支店、台東ケーブルテレビ、月刊「浅草」、川柳宮城野社、川柳美すゞ吟社、東葛川柳会、中の島川柳会、玄武堂企画、(株)新聞編集センターほか各団体、各社様